

メロスは激怒した。必ずかの

邪智暴虐の王を除かなければ

ならぬと決意した。

メロスには政治がわからぬ。

メロスは村の牧人である。

MEMO

太宰治 「走れメロス」

太宰治の短編小説。処刑されるのを承知の上で友情を守ったメロスが、人の心を信じられない王に信頼することの尊さを悟らせる物語。